



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月26日

上場会社名 エムケー精工株式会社  
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 将一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小林 文彦  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年3月21日～平成29年12月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,990	2.2	1,209	7.0	1,211	7.1	783	5.3
29年3月期第3四半期	16,357	0.9	1,299	22.5	1,304	24.9	826	20.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 845百万円 (9.7%) 29年3月期第3四半期 770百万円 (16.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	54.01	
29年3月期第3四半期	57.01	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	22,494	11,185	49.7	771.33
29年3月期	19,744	10,456	53.0	721.05

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,185百万円 29年3月期 10,456百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		8.00	8.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年3月21日～平成30年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	2.7	650	33.2	600	38.0	350	43.1	24.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	15,595,050 株	29年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,093,905 株	29年3月期	1,093,825 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	14,501,193 株	29年3月期3Q	14,501,225 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしましたが、アジア新興国の経済動向や米国政権の政策運営、地政学的リスクの高まりによる影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、オート機器の分野では設備投資は堅調に推移しましたが、情報機器及び生活機器の分野では、市場の伸び悩みや激しい価格競争により厳しい経営環境にありました。

こうした状況のもと当社グループは、モノづくりの原点回帰と顧客視点に立った商品開発、サービス品質の向上に取り組むとともに、コスト低減と生産性の向上により収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は159億9千万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は12億9百万円（前年同期比7.0%減）、経常利益は12億1千1百万円（前年同期比7.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億8千3百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (オート機器事業)

主力の門型洗車機は、政府補助金制度の効果が一巡しつつあるものの、カーディーラー及び整備工場向けが好調に推移し、前年同期実績を上回りました。また、オイル機器では、スプレー式洗車機やオイルチェンジャーは販売台数が伸長した一方、灯油配送ローリーは伸び悩みました。その結果、売上高は前年同期比1.1%減の106億4百万円となりました。

## (情報機器事業)

一般店舗向け小型表示機は前年同期実績を上回ったものの、フルカラー大型表示機は低調に推移しています。また、SS向け価格看板は好調を維持しておりますが、官需関連は案件規模の小さいものが多く前年同期実績を下回りました。その結果、売上高は前年同期比21.2%減の11億円となりました。

## (生活機器事業)

農家向け商材の主力製品である低温貯蔵庫、保冷米びつ、また一般家庭向け商材の電子レンジ置き台は、天候不順の影響及び消費動向の冷え込みと同調し低調に推移しました。一方、今期新発売した調理家電の小型精米機、パン焼き機は、家電量販店やホームセンターなどの大型店を中心に販売台数が伸長したものの、主力製品の落ち込みをカバーするには至らず、その結果、売上高は前年同期比4.9%減の30億4千6百万円となりました。

## (住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、主として木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置等を製造・販売しております。木・アルミ複合断熱建具は、地域産の木材利用促進と省エネ基準義務化による提案営業を積極的に展開する中、長野県産木材を使用した大型案件が竣工し、売上に大きく貢献しました。その結果、売上高は前年同期比23.5%増の11億1百万円となりました。

## (その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、お客様のニーズを踏まえたサービス品質の向上に努めておりますが、競合ホテルの出店に加え価格競争による厳しい環境が続いております。その結果、売上高は前年同期比6.7%減の1億3千8百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ27億5千万円増加し224億9千4百万円となりました。流動資産は22億2千万円増の124億1千6百万円、固定資産は5億2千9百万円増の100億7千7百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、受取手形及び売掛金が14億7千3百万円増加、たな卸資産が7億7千6百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ20億2千1百万円増加し113億9百万円となりました。流動負債は23億7千3百万円増の89億9千9百万円、固定負債は3億5千2百万円減の23億9百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が5億9百万円増加、短期借入金が12億8千5百万円増加、長期借入金が8億3千5百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ7億2千9百万円増加し、111億8千5百万円となりました。これは主に利益剰余金が6億6千7百万円増加、その他有価証券評価差額金が1億3千万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年4月28日発表の「平成29年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,836,443	1,747,459
受取手形及び売掛金	3,958,456	5,431,480
商品及び製品	1,572,666	1,733,438
仕掛品	1,122,446	1,443,965
原材料及び貯蔵品	1,362,304	1,656,748
その他	370,846	431,820
貸倒引当金	△27,124	△27,997
流動資産合計	10,196,038	12,416,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,324,204	2,318,094
機械装置及び運搬具(純額)	472,104	452,667
土地	2,981,164	2,977,678
その他(純額)	237,208	620,906
有形固定資産合計	6,014,682	6,369,346
無形固定資産		
のれん	621,583	539,935
その他	481,935	468,365
無形固定資産合計	1,103,518	1,008,301
投資その他の資産	2,429,856	2,699,878
固定資産合計	9,548,057	10,077,526
資産合計	19,744,096	22,494,441

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	859,275	1,368,849
短期借入金	1,145,000	2,430,000
1年内返済予定の長期借入金	528,546	1,006,910
未払金	3,008,283	3,171,455
未払法人税等	234,106	238,930
引当金	490,660	275,090
その他	360,140	508,367
流動負債合計	6,626,012	8,999,602
固定負債		
長期借入金	2,109,194	1,273,504
退職給付に係る負債	113,755	116,057
その他	439,095	920,130
固定負債合計	2,662,044	2,309,692
負債合計	9,288,056	11,309,294
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	4,013,596	4,680,812
自己株式	△510,424	△510,457
株主資本合計	9,827,868	10,495,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338,101	468,160
繰延ヘッジ損益	23,845	4,871
為替換算調整勘定	117,384	50,077
退職給付に係る調整累計額	148,840	166,986
その他の包括利益累計額合計	628,171	690,095
純資産合計	10,456,040	11,185,147
負債純資産合計	19,744,096	22,494,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年12月20日)
売上高	16,357,640	15,990,280
売上原価	10,854,442	10,478,059
売上総利益	5,503,197	5,512,221
販売費及び一般管理費	4,203,292	4,303,089
営業利益	1,299,905	1,209,132
営業外収益		
受取配当金	28,567	32,709
その他	48,725	40,371
営業外収益合計	77,293	73,081
営業外費用		
支払利息	37,284	45,958
為替差損	20,323	302
その他	15,484	24,507
営業外費用合計	73,091	70,768
経常利益	1,304,106	1,211,445
特別利益		
固定資産売却益	92	55
投資有価証券売却益	—	0
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	6,868	—
特別利益合計	6,961	56
特別損失		
固定資産除売却損	770	470
固定資産処分損	—	3,486
ゴルフ会員権評価損	782	—
特別損失合計	1,552	3,956
税金等調整前四半期純利益	1,309,515	1,207,545
法人税、住民税及び事業税	430,629	352,147
法人税等調整額	52,197	72,172
法人税等合計	482,827	424,319
四半期純利益	826,688	783,225
親会社株主に帰属する四半期純利益	826,688	783,225



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月21日 至 平成29年12月20日)
四半期純利益	826,688	783,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125,572	130,058
繰延ヘッジ損益	64,906	△18,973
為替換算調整勘定	△267,799	△67,306
退職給付に係る調整額	20,901	18,146
その他の包括利益合計	△56,419	61,924
四半期包括利益	770,268	845,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	770,268	845,149

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月21日 至 平成28年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,717,905	1,395,459	3,204,067	892,344	147,863	16,357,640	—	16,357,640
セグメント間の内部 売上高又は振替高	937	48,085	341,718	318	104,517	495,576	△495,576	—
計	10,718,842	1,443,545	3,545,785	892,662	252,381	16,853,217	△495,576	16,357,640
セグメント利益又は 損失(△)	1,655,388	99,162	376,314	△80,146	28,516	2,079,235	△779,329	1,299,905

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△779,329千円には、セグメント間取引消去13,920千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△793,250千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月21日 至 平成29年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,604,341	1,100,013	3,046,091	1,101,805	138,029	15,990,280	—	15,990,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,128	53,657	382,723	35	110,703	548,248	△548,248	—
計	10,605,470	1,153,670	3,428,814	1,101,841	248,732	16,538,529	△548,248	15,990,280
セグメント利益又は 損失(△)	1,688,872	39,450	289,142	△35,909	45,463	2,027,018	△817,886	1,209,132

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△817,886千円には、セグメント間取引消去13,756千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△831,643千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。